

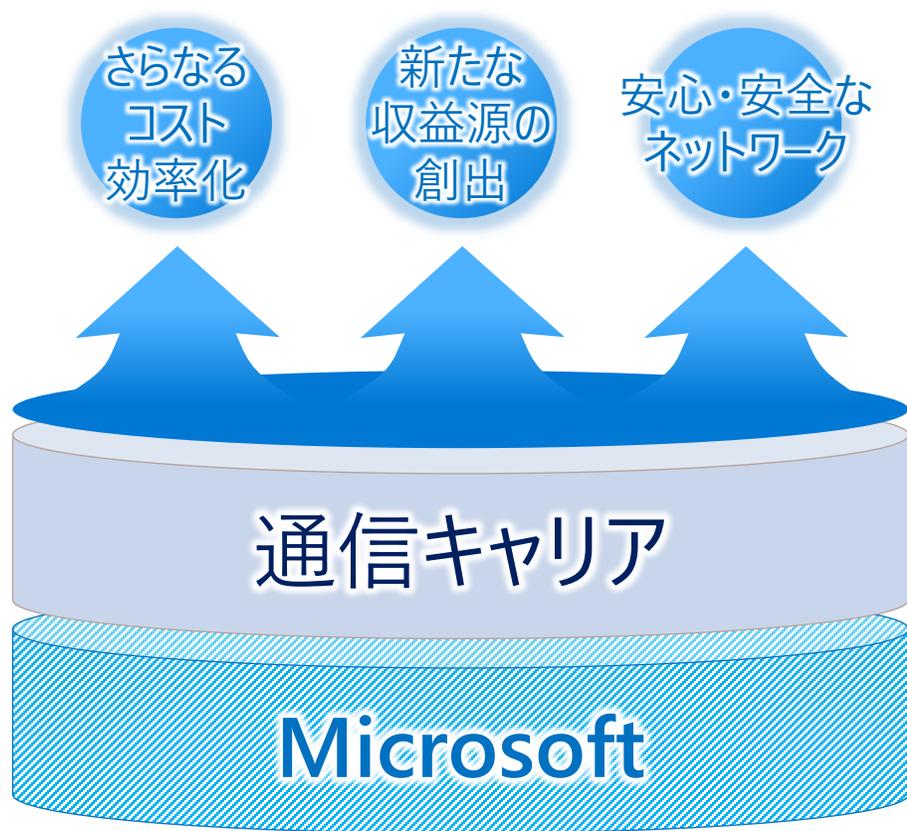


IPネットワーク設備委員会
技術検討作業班ヒアリング

Azure for Operatorsについて

2022年7月22日
日本マイクロソフト株式会社

Azure for Operatorsで「次世代の通信キャリア」への変革をサポート



Azure for Operators

Ecosystem

- CNF / VNFs
- Azureエッジアプリケーション
- OSS (Operational Support Systems)
- BSS (Business Support Systems)

Platform

- キャリアグレードのNetwork Function as a service
- オンプレミス環境、エッジ、クラウドまで、End-to-endでお客さまをご支援
- エッジコンピューティング、ネットワークスライシング、IoT、5Gをサポート
- 世界トップレベルのセキュリティ/プライバシー技術

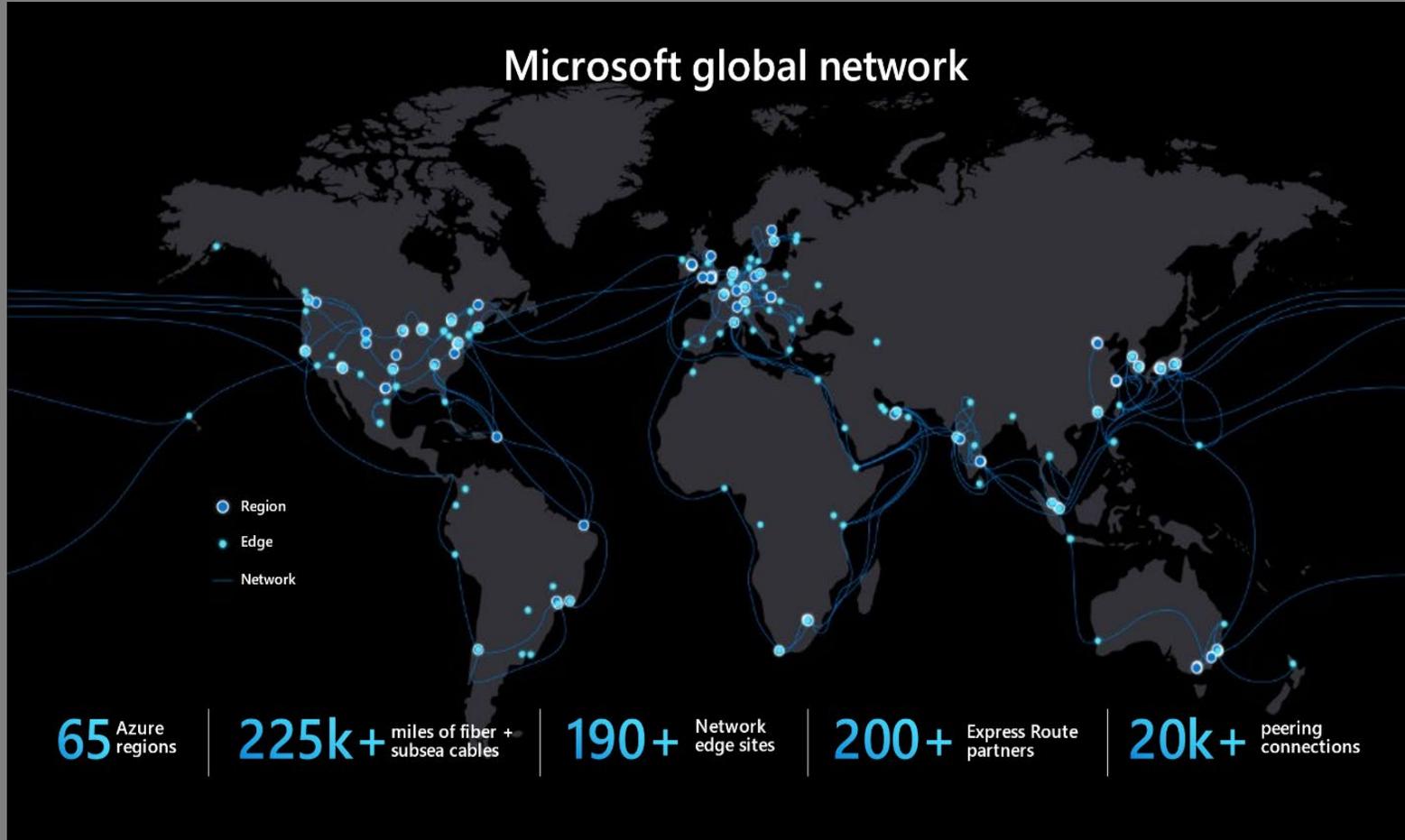


Demands for 5G

5Gは、ネットワークを流れる大量のデータを生成する、高密度に展開された極めて多くのインテリジェント・デバイスを接続できる能力を提供します。

通信事業者は、法人顧客がクリティカルな業務の管理・制御をほぼリアルタイムで行えるよう、5Gの有する低遅延、高密度なデバイスの接続、高い実行能力を迅速に提供していくことが求められています。

Microsoft global network



Microsoft Azure is the world's computer

マイクロソフトは、Azure for Operators イニシアチブにより、ネットワークのコア部分におけるソリューションとなる、通信キャリアグレードのクラウドを構築し、通信事業者のネットワークのエッジ部分に対して、さらに多くのクラウドテクノロジーを提供します。

AZURE FOR OPERATORS のメリットとは？

クラウドに移行するモバイル通信事業者は、ハードウェアと開発のコストを削減し、クラウドが実現する自動化とデータ分析のメリットを享受でき、さらに、リアルタイムでの対応とピーク時のトラフィックをオンデマンドで管理することができます。

- 設備投資の削減
- 運用コストの削減
- セキュリティ、耐障害性、冗長性の強化
- 収益機会の増加

クラウドでのネットワーク運用は、スピード、セキュリティ、コスト改善、イノベーションを促進します。Azureを利用することで、事業者はより柔軟でスケーラブルなサービスモデルの提供、インフラコストの削減、AIによる運用の自動化、顧客に提供するサービスの差別化が可能となります。

AZURE FOR OPERATORSにおけるコントロールの維持

パフォーマンスに関するサービスレベルアグリーメント

モバイル通信事業者は、自社のネットワーク機能をどの程度クラウドに統合するか決めることができます。

モバイル通信事業者は、顧客データをAzureクラウドに移行するかどうか、いつ移行するかを含め、顧客データの保管場所や処理方法について、引き続き自ら管理することができます。例としてAT&Tとの契約についていえば、マイクロソフトはAT&Tの顧客データにアクセスしません。AT&Tが従前どおり顧客データへのアクセスを保持し、マイクロソフトはそのデータを見ることはできません。

通信事業者は、自社のネットワークへのトラフィックの出入りを管理しており、クラウドベースのサービスへ移行しても、こうした取決めは維持されるべきです。Azure for Operatorsは、ピアリングのための既存の取決めを維持する一方で、ネットワーク相互接続のための注目すべき新たな選択肢を作り出します。

クラウドへの 移行に関する 規制上の 課題と対応

クラウドサービスを利用した自由なネットワークの構築のためには、モバイル通信事業者が通信の秘密に係る情報をクラウドサービス上で保存・処理できることが明確に示されるべきです。（クラウド上におけるデータの保護については、クラウド上の個人情報保護に関する国際標準（ISO/IEC 27018）も参考になります。）

通信に関する規制のフレームワークは現在のもので不足はありません。マイクロソフトとしては、モバイル通信事業者からの緊急の要請への対応を含め、通信事業者が規制に基づく義務を履行するために必要な支援を行ってまいります。



Thank you! Questions?